

第3回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成16年12月6日(月) 午後6時30分~8時15分
場 所 吉祥寺図書館 2階集会室
出席委員 山本真鳥 山本ふみこ 赤星昌子 荒木俊夫 池田泰
石田和以 河北祐子 毛利和弘 山本輝子

(敬称略)

会議次第

1 報告事項

人事異動について

2 前回会議要録の承認

第2回会議要録が承認された。

3 議題

吉祥寺図書館について建設の経過説明及び館内を視察した後、会議を再開した。

武蔵野市立図書館の運営について

{話し合われた要旨は以下のとおり}

委員 吉祥寺駅前に返却ポストがなく不便なので、テロ対策のこともありますが、返却しやすいように交番の前にでも作るようにしていただきたいと思います。

委員 不明本の関係で、本をカバンの中に入れて持ち歩いていいというのはいかがなものでしょうか。

事務局 不明本の件は、前の運営委員会の報告にも出たことですが持ち出し防止のためのBDS装置は予算の問題があって実現していません。見回りの強化等で対応しています。

委員 年間どのくらい持ち出しがあるのですか。

事務局 3館全体では15年度は7100、16年度は4000台程度に減っています。貸出数は増えています。

委員 大学図書館ではどこでもBDSは入っていますが、持ち出しする人はやはりいます。

事務局 持っていかれやすい雑誌はカウンター内に引き上げて、カウンターで貸出すようにしています。

委員 付録のCDなどはどうしていますか。

事務局 著作権にもよりますが、貸出が可能なものは付録につけています。

委員 図書を保管するスペースにも限界もあるので、今後デジタル化してみんなで読むようになっていくのではないのでしょうか。

事務局 定点撮影についてはデジタル化して、新しいホームページができたときの素材として考えています。一般図書については、著作権の問題があり、図書館ではなくメーカーがやるものです。

地域資料のデジタル化も検討しています。著作権の切れたもの、武蔵野文庫等は予算上の問題があり、まず、絞り込みをする必要があります。中央図書館には昭

- 和 20 年代の新聞があり、それをデジタル化すると著作権法に基づき原本は廃棄しなければならなくなるので、今後の研究課題ではあります。
- 委員 資料をデジタル化する場合は、それをどのように提供するかまで考えないといけないと思います。見出しとかキーワードでの検索機能をうまくプログラムしてシステムを作らないと利用者には提供できないでしょう。
- 委員 デジタル化については、研究者に依頼してはどうでしょうか。検索プログラムは専門家が作る必要があるのではないのでしょうか。
- 委員 高齢化社会に向かって、高齢者への宅配サービスなどはどうなっているのでしょうか。
- 事務局 高齢者という切り口ではなく、障害などの理由で来館することが困難な方に対しては本の郵送貸出を行っています。
- 委員 本を自動車に積んで巡回するようなことはやっているのでしょうか。
- 委員 ブックモビルは、昔はどこでもやっていたみたいですが、分館が増えてきた今ではかなり少なくなっています。
- 事務局 本市ではブックモビルは市民の声としては小さく、それよりは分館を作ってほしいという声の方が大きかったと記憶しています。
- 委員 こどもクラブにある本が、ときどきガラッと変わっていて面白いことがあります。
- 事務局 こどもクラブは、登録団体への貸出サービスを利用されています。2 ヶ月、300冊まで借りることができます。
- 委員 吉祥寺図書館の2階には職員がいないようですが、防犯対策についてはどうなっているのでしょうか。
- 事務局 職員の巡回と2箇所のカメラで監視しています。
- 委員 いろんな犯罪がおきる時代なのでセキュリティ対策をきちっとしてもらおうと安心です。
- 事務局 現在は、夜間と土・日・祝日はシルバー人材センターの警備員による見回り、平日の昼間はホワイトイーグルに立ち寄りを依頼しています。来年度からは、制服、制帽の警備員が巡回することになっています。
- 委員 サービスの面から言っても、各階に職員がいるようにしないといけないと思います。
- 委員 人手が足りないのならボランティアを使うなど考えられないのでしょうか。
- 委員 返却ポストについてですが、落下の具合によっては本が傷んでしまうようで心配です。
- 事務局 スポンジのマットレスを敷いています。
- 委員 何か対策を検討してください。

<閉 会>

次回日程； 日時；3月28日（月）18：30～
場所；西部図書館